（７）　平成２７年度　「学校経営の重点化構想と評価」　日光市立大室小学校

日本国憲法・教育基本法
学校教育法・学習指導要領
栃木県教育行政基本方針
とちぎ教育振興ビジョン
日光市学校教育基本計画

学　校　教　育　目　標

〔基本目標〕
一人一人の個性や能力を尊重し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな創造力に富んだ児童を育成する
（具体目標）
◎よく考え学ぶ子〔知育〕　◎思いやりのある子〔徳育〕　◎元気でよく働く子〔体育〕

児童の実態
保護者の願い
地域の願い
社会の要請
今日的な教育課題

目　指　す　学　校　像

◎ 子どもの成長を助ける教育環境としての学校
・教育の専門家としての資質を磨く学校風土
・安全で安らぐ学習環境・生活環境

目　指　す　教　職　員　像

◎ 教育等の専門家としての確かな力量のある教職員
・ 教育に対する強い情熱
・ 総合的な人間力

学　校　経　営　の　方　針

1 心が通い合う、明るく生き生きとした豊かな人間関係を育む環境づくり
2 恵まれた豊かな自然環境を生かしながら、教職員が主体的に参画する学校経営
3 学校・家庭・地域社会との連携を密にし、地域の教育力を生かした開かれた学校づくり
4 特別支援教育の充実を図るとともに、小中一貫・連携教育の積極的な推進
5 児童一人一人が充実感と存在感を十分味わえる学年・学級経営
6 教職員の危機意識を高め、自他の安全や人権を尊重する児童の育成。
7 学力の向上を目指すとともに、自分の想いを伝え合える児童の育成
8 「いきいき栃木っ子３あい運動」を基盤に、心豊かな児童の育成及び国際化や情報化など社会の変化に対応できる能力の育成

道　徳
特別活動

各　教　科

みどりっ子学習
地域　福祉　環境　生命　国際理解

共　学　・　共　遊　・　共　働

学　校　の　努　力　す　る　課　題

児　童　の　学　力　向　上　を　目　指　し　た　指　導　法　の　工　夫
～ 小集団による「学び合い」を生かした授業の展開を通して ～

努　力　点　・　具　体　策

よく考え学ぶ子（共学）

1 学力向上を目指した指導の充実
○基礎・基本を押さえた学習指導の充実
・学ぶ楽しさを味わえる、分かる授業の推進
・Ｔ・Ｔによる指導や習熟度別学習の充実
・学業指導の推進と充実（「学びの誓い」の指導）
・家庭学習の充実
2 表現力を高めるための指導の充実
○自分を表現したり、伝え合ったりする場の設定
・「学び合い」を取り入れた授業の展開と充実
・人の話をよく聞き、自分の考えをまとめて発表する機会の重視
・読書の奨励と読書指導の充実
3 問題解決的学習や体験的な学習の充実
○主体的に学習に取り組む態度の育成と情報機器及び資料活用能力の育成
・課題解決的な学習とその指導法の工夫（学習過程を明確にした展開と問題把握）
・問題解決能力の育成（解決の方法とその結果をまとめ伝達するといった一連の流れの中で）
・情報収集のために、インターネットや参考図書を有効に活用する能力の育成
・効果的な体験学習にするため、事前・事中・事後指導の充実
4 英語の基本的なコミュニケーション能力の育成
○英語を楽しみ、積極的に会話する児童の育成
・実態や発達段階に即した活動計画の作成と効果的な実践
・意欲的に楽しく活動できる授業の工夫
・担任の英語力の向上

思いやりのある子（共遊）

1 個が生かされる集団づくりの推進
○集団の中で個が生きる活動の重視
・いきいきタイムの有効活用
・道徳の授業の充実（資料の選択及び指導法の工夫、心のノートの活用）
・特別活動における話合い活動の充実
・遠足や宿泊学習及び修学旅行等の学校行事を通した意図的な指導
2 基本的生活習慣を基盤とした児童指導の充実
○きまりや約束を守る指導の充実
・学習のきまりや生活のきまりの指導の徹底
・校外学習や学校行事の際の指導の徹底
・登下校時の班行動の安全指導の徹底
3 豊かな心を育む教育の充実
○心を耕す活動の充実
・あいさつ運動の推進（「あいさつ週間」「あいさつの日」の設定）
・人権感覚の醸成と人権意識の高揚をめざす指導の充実（全ての教育活動を通した人権教育の充実）
・読み聞かせを生かす
4 協力・協調の心を育てる活動の充実
○進んで協力する態度を育てる指導の充実
・学校生活の中の様々な活動を通しての意図的な指導（登校班、清掃活動、給食、児童会活動、委員会活動、特別活動、学校行事など）
・「共遊の時間」の有効活用（縦割り共遊「みどりっ子共遊」の実施）
・家族の一員としての役割を担えるような指導の充実（仕事や手伝いなど）

元気でよく働く子（共働）

1 生命の尊重と安全指導の充実
○身の回りの安全を意識して生活できるようにするための指導の工夫
・交通安全指導の充実（交通安全教室、日常の指導、集団登下校の指導）
・学校のきまりを守って生活できる児童の育成
・家庭における生活習慣の改善と向上（家庭訪問及び教育相談等の活用）
2 体力を高めるための指導と環境の充実
○楽しく意欲的に運動する機会と場の設定
・楽しさを味わう体育の授業の工夫
・いきいきタイム、のびのびタイムの有効活用
・外遊びの奨励と遊具の充実
3 健康維持増進のための指導の充実
○児童のニーズにあった指導・支援
・食育の充実
・保健指導の充実
・個々の児童理解と配慮を要する児童への指導・支援
4 勤労体験活動の推進と充実
○児童一人一人が意欲的に取り組む活動の充実
・みどりっ子活動の充実（農園活動、花壇活動）
・清掃指導の充実
・積極的に行動する児童の育成（係活動、委員会活動、行事等）
・校外学習時における「地域貢献」の奨励

学　年　・　学　級　経　営　の　充　実
い　き　い　き　栃　木　っ　子　３　あ　い　運　動

開かれた学校（家庭・地域社会との連携）

○透明度の高い情報提供（ＨＰ、学校だより、ＰＴＡ総会、瓦版等）
○学校支援ボランティアの積極的な活用、地域素材の教材化
○地域社会への積極的な参加・貢献
○学校運営への地域住民・保護者の参加

教職員の資質向上

○ 現職教育の充実、学校課題への取組
○ 学校経営の重点化構想を生かした取組
○ 自己研修の充実（学び続ける教職員）

評　価

自己点検・自己評価
児童・保護者による評価
⇒ 学校関係者評価 ⇒ 改善策の検討 ⇒ 学校経営計画の見直し
教職員の意識改革